

リニア駅前エリア整備の 在り方検討会議の趣旨

令和2年7月7日
山梨県

『リニア駅前エリア整備の在り方検討会議』の趣旨

リニアやまなしビジョンにおいて

◇リニア開業に向けて特に必要となる社会基盤の整備

新たなゲートウェイに必要な機能

リニア駅は、甲府中央スマートICにより中央自動車道と直結し、県内の主要地点や県外を結ぶ公共交通ネットワークのハブとして位置付けられている。

本県の新たなゲートウェイとなるとともに、他県を含めたより広域なゲートウェイとしての役割も持つことから、**必要となる交通結節機能などを整備**していく。

県内交通ネットワークの充実

県内全域にリニアの開業効果を波及させるため、公共交通によるリニア駅と既存駅等とのアクセスの向上を図ることとしている。

次世代交通システムも見据えた**リニア駅と県内の主要拠点**を結ぶバス交通を整備していく。

本会議で整備の在り方を検討

会議のアウトプット

リニア駅前エリアの 交通結節機能の整備について

- 各交通機関の利用者の移動、乗り換えが円滑にできるための交通結節の在り方、この在り方に基づき整備すべき基盤施設を選定し配置
- 浸水等災害時における防災力の強化となる交通結節機能を確保する対策
- 利便性向上のためのサービス施設を選定し配置（民間資本の参入を前提に）

公共交通によるリニア駅と既存駅等との アクセス向上について

- リニア駅と甲府駅をはじめとする県内主要拠点を結ぶバスネットワーク
- リニア駅－小井川駅間のシャトルバスの導入

会議の進め方

第1回 7月上旬

第2回 9月上旬

第3回 11月上旬

第4回 12月下旬

第5回 1月中旬

検討内容

リニア駅前エリア整備

趣旨説明
交通結節の考え方

交通結節機能の
ゾーニング

整備する施設の考え方
災害時の防災機能の考え方
サービス施設の考え方

概略レイアウト
防災対策の考え方

整備施設の在り方
とりまとめ

県内交通ネットワーク

趣旨説明
県内交通ネットワーク
の現状把握

シャトルバス
事例研究

バスネットワーク
検討①
シャトルバス導入
検討①

バスネットワーク
検討②
シャトルバス導入
検討②

バスネットワーク
の在り方とりまとめ
シャトルバス導入の
在り方とりまとめ

事業の進め方

	2019	2020	2021	～	2027
リニア駅前 エリア整備	リニア やまなし ビジョン策定	駅前エリア整備 の在り方会議 ・駅前エリア整備検討	事業主体（民間分）の決定 設計 用地取得 工事 等		
県内交通 ネットワーク		駅前エリア整備 の在り方会議 ・バスネットワーク検討 ・シャトルバス導入検討	運営主体の決定 シャトルバスルート整備 等		

リ
ニ
ア
開
業